

ご 報 告

平成23年10月から平成24年3月まで当院で勤務していた元職員から、個人情報を含んだ私物のノートパソコンを紛失したという報告を受けました。

7月3日に受けた報告によれば、その個人用パソコンは本年6月26日に紛失され、本日の時点でまだ発見されておられません。紛失されたパソコンには当院の患者さんの氏名、住所等は登録されておませんが、ID番号が含まれておりました。なお、紛失したパソコンの格納データは暗号化するなど、情報漏えいのリスク低減策がとられていることを確認しております。

万一、第三者による不正使用が判明した場合は誠意をもって対応いたします。

当院では、個人情報保護を重要な責務として認識し、職員に対して、従来から個人情報の取り扱いに細心の注意を払うよう指示してまいりましたが、このような事態が発生したことは遺憾であります。

今回のご報告を契機として、改めて個人情報保護の重要性について再徹底するとともに、再発防止に向けて取り組んでまいります。

平成25年7月5日

国立がん研究センター中央病院

院長 荒井 保明